

作成日(改訂日) : 2018年3月30日

安全データシート

1. 製品及び会社情報

製品名 : 草サラバ
 会社名 : OATアグリオ株式会社
 住所 : 東京都千代田区神田小川町 1-3-1 NBF 小川町ビルディング 8 階
 担当部署 : 品質保証室
 電話 : 088(684)0220
 FAX : 088(686)7055
 緊急連絡先電話番号 : 03(5283)0251(本社)
 整理番号(SDS No.) : OAT0326-2
 使用上の制限 : 農薬

2. 危険有害性の要約

GHS 分類

物理化学的危険性

引火性液体 区分外

健康に対する有害性

急性毒性(経口) 区分外

急性毒性(経皮) 区分外

皮膚腐食性・刺激性 区分 2

眼に対する重篤な損傷・眼刺激性 区分 2A

皮膚感作性 区分外

発がん性 区分 1A

生殖毒性 区分 1A

特定標的臓器毒性(単回ばく露) 区分 3(気道刺激性)

環境に対する有害性

水生環境急性有害性 区分 2

水生環境慢性有害性 区分 1

* 上記で記載がない危険有害性は、分類対象外か分類できない。

GHS ラベル要素

絵表示



注意喚起語	危険	
危険有害性情報	皮膚刺激	H315
	強い眼刺激	H319
	呼吸器への刺激のおそれ	H335
	発がんのおそれ	H350
	生殖能又は胎児への悪影響のおそれ	H360
	水生生物に毒性	H401
	長期継続的影響によって水生生物に非常に強い毒性	H410

注意書き

【安全対策】

使用前に取扱説明書を入手すること。(P201)
 すべての安全注意を読み理解するまで取扱わないこと。(P202)
 ガス、ミスト、蒸気、スプレーの吸入を避けること。(P261)
 取扱い後手および眼をよく洗うこと。(P264)
 屋外又は換気の良い場所でのみ使用すること。(P271)
 必要な時以外は環境への放出を避けること。(P273)
 保護手袋／保護メガネ／保護面を着用すること。(P280)

【応急措置】

皮膚に付着した場合、多量の水と石鹼で洗うこと。(P302+P352)
 吸入した場合、空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。(P304+P340)
 眼に入った場合、水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。(P305+P351+P338)
 暴露又はその懸念がある場合、医師の手当、診断を受けること。(P308+P313)
 気分が悪い時は、医師に連絡すること。(P312)
 特別な処置が必要である。(この SDS の 4. 応急措置を参照)(P321)
 皮膚刺激が生じた場合、医師の診断、手当てを受けること。(P332+P313)
 眼の刺激が続く場合、医師の診断手当てを受けること。(P337+P313)
 汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。(P362+P364)
 漏出物を回収すること。(P391)

【保管】

容器を密閉して換気の良い場所で保管すること。(P403+P233)
 施錠して保管すること。(P405)

【廃棄】

内容物／容器は知事等の許可を受けた産業廃棄物処理業者に処理を委託する(地方公共団体が処理を行っている場合には、地方公共団体に委託すること。(P501)

3. 組成及び成分情報

単一製品・混合物の区別 : 混合物
 化学名(又は一般名) : デシルアルコール乳剤

成分名	含有量(%)	CAS No.	化審法番号	安衛法番号
デシルアルコール	78.0	112-30-1	(2)-217	-
エタノール	<1	64-17-5	(2)-202	(2)-(6)-201
界面活性剤等	残量	-	-	-

4. 応急措置**吸入した場合**

空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
 呼吸困難を訴える場合には酸素を吸入させる。また、呼吸が停止している場合には直ちに人工呼吸を行う。
 医師の手当、診断を受けること。

皮膚に付着した場合

多量の水と石鹼で洗うこと。
 汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。
 皮膚刺激が生じた場合、医師の診断、手当てを受けること。

眼に入った場合

速やかに流水にて 15 分間以上の洗浄を行い、眼科医の診断を受ける。
 眼をこすってはならない。洗眼は瞼を指で開いて行う。

飲み込んだ場合

直ちに水で口腔内を洗浄する。
 多量の水を飲ませ、速やかに医師の診断を受ける。無理に吐かせないこと。

5. 火災時の措置**消火剤**

粉末消火剤、二酸化炭素、散水、水噴霧、一般の泡消火剤

火災時の特定危険有害性

加熱により容器が爆発するおそれがある。
 火災時に刺激性、腐食性及び／又は毒性のガスを発生するおそれがある。

特定の消火方法

放水による消火の場合、本品を高濃度に含有する液が河川等に流出しないように注意が必要である。
 危険でなければ火災区域から容器を移動する。
 消火後も、大量の水を用いて十分に容器を冷却する。

消火を行う者の保護

必ず自式呼吸器と適切な保護具を着用して風上より消火を行う。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項

- 関係者以外は近づけない。
- 直ちに、全ての方向に適切な距離を漏洩区域として隔離する。
- 風上に留まる。
- 漏洩物に触れたり、その中を歩いたりしない。

環境に対する注意事項

- 周辺の池や川に流入しないように注意する。

除去方法

- 危険でなければ漏れを止める。
- 大量の場合には盛土で囲って漏洩規模の拡大を防ぐ。
- 速やかに着火源を取り除くとともに、漏洩区域を関係者以外立ち入り禁止にする。
- 可能な限り密閉可能な容器に回収する。
- 残渣は濡れ雑巾等で拭き取るか、漏洩箇所を大量の水で洗浄する。
- 屋内で漏洩した場合には、回収作業中と作業後に換気を行う。

7. 取扱いおよび保管上の注意

取扱い

- 接触、吸入又は飲み込まないこと。
- 本品の取扱い時には、暴露防止のために適切な保護具(8. 暴露防止及び保護措置参照)を着用し、作業中は十分に換気を行う。
- 本品が付着した衣類等は再使用前に必ず洗濯する。
- 作業後には直ちに手足、顔などを石鹼でよく洗い、洗眼・うがいをする。
- 本品の用途以外に使用しない。
- 的確な工業衛生管理に則った換気及び清掃を実施する。
- 火気注意。

保管

- 酸化剤から離して保管する。
- 消防法及び国連輸送法規で規定されている容器を使用する。
- 直射日光を避け、なるべく低温で乾燥した場所に密封して保管する。

8. 暴露防止及び保護措置

設備対策

- 本製品を貯蔵ないし取扱う作業場には洗眼器と安全シャワーを設置すること。
- 屋内で使用する場合は、作業場の喚起を行う。

管理濃度及び許容濃度

成分名	管理濃度(厚生労働省)	許容濃度(産衛学会)	許容濃度(ACGIH)
デシアルコール	-	-	-
エタノール	-	-	TWA-, STEL 1000 ppm

上記成分以外にも、管理濃度及び許容濃度が設定された成分を含む。

保護具

- 呼吸器用の保護具 : 防護マスク
- 手の保護具 : ゴム手袋等の不浸透性の手袋
- 眼の保護具 : 保護眼鏡(普通眼鏡型、側板付き普通眼鏡型、ゴーグル型)
- 皮膚及び身体の保護具 : 顔面用の保護具を着用すること。必要に応じて個人用の保護衣、保護面を使用すること。

9. 物理的及び化学的性質

物理的状態

- 形状 : 可乳化油状液体
- 色 : 無色透明
- 臭い : チェリー臭とローズ臭
- pH : 6-8(20%水溶液)

物理的状態が変化する特定の温度/温度範囲

- 沸点 : データなし
- 融点/凝固点 : データなし
- 分解温度 : データなし

引火点 : 109°C(クリーブランド式)
発火点 : データなし
蒸気圧 : データなし
蒸気密度 : データなし
比重/密度 : 0.86-0.87(20°C)
溶解性
水に対する溶解性 : -
オクタノール/水分配係数 (log Pow) : データなし

10. 安定性及び反応性

安定性

通常の保存条件では安定。

避けるべき条件

高温

避けるべき材料

酸化剤

危険有害な分解生成物

火災時に刺激性、腐食性及び/又は毒性のガスを発生するおそれがある。

11. 有害性情報

急性毒性

経口 LD₅₀ : >2000 mg/kg, (♀ラット)

経皮 LD₅₀ : >2000 mg/kg, (♂♀ラット)

皮膚腐食性・刺激性

中等度の刺激性あり

眼に対する重篤な損傷・眼刺激性

中等度の刺激性あり

皮膚感作性

感作性なし

遺伝毒性(デシルアルコール)

Ames 試験 : 陰性

レック-アッセイ : 陰性

発がん性

区分 1A に分類される成分(エタノール)を 0.1%以上含むため、区分 1A とした。

生殖毒性

区分 1A に分類される成分(エタノール)を 0.3%以上含むため、区分 1A とした。

特定標的臓器毒性(単回暴露)

区分 3(気道刺激性)に分類される成分(デシルアルコール、エタノール他)を 20%以上含むため、
区分 3(気道刺激性)とした。

12. 環境影響情報

水生環境有害性(急性)

LC₅₀(96 時間) : 7.74 mg/L(コイ)

EC₅₀(48 時間) : 7.28 mg/L(オオミジンコ)

ErC₅₀(0-72 時間) : 5.52 mg/L(*Pseudokirchneriella subcapitata*)

水生環境有害性(慢性)

区分 1 に分類される成分(デシルアルコール)を 25%以上含むため、区分 1 とした。

13. 廃棄上の注意

本品を直接排水や河川等に廃棄してはならない。汚染廃液は、湖、河川及び池に流入するおそれのある場所に保管しない。

焼却処理を行う場合には、木粉(おがくず)等に吸収させて、スクラバーを具備した焼却炉で焼却する。大量に廃棄する場合には、製造業者に連絡する。

知事等の許可を受けた産業廃棄物処理業者に処理を委託する(地方公共団体が処理を行っている場合には、地方公共団体に委託する)。

14. 輸送上の注意

国連番号、国連分類

番号 : 3082 – 環境有害性物質(液体)(デシラルコール)
 クラス : 9
 容器等級 : III
 海洋汚染物質 : 該当

輸送の特定の安全対策及び条件

本品の輸送は適用される法令に従って行う。
 運搬に際しては容器に漏れのないことを確認し、転倒、落下、損傷がないよう積み込む。
 容器の落下や転倒等の防止策を講じるとともに、直射日光や雨を遮断するための措置を講じる。
 容器は乱暴に取り扱わない。

15. 適用法令

農薬取締法	登録番号 第 23806 号
毒物及び劇物取締法	非該当
労働安全衛生法	名称等を表示すべき危険物及び有害物(法第 57 条第 1 項、施行令第 18 条第 1 号、第 2 号別表第 9):61 エタノール 名称等を通知すべき危険物及び有害物:(法第 57 条の 2、施行令第 18 条の 2 第 1 号、第 2 号別表第 9):61 エタノール 危険物・引火性の物(施行令別表第 1 第 4 号)を含む 第一種指定化学物質(法第 2 条第 2 項、施行令第 1 条別表第 1) No.257 デシラルコール
化学物質管理促進法(PRTR)	危険物第 4 類第三石油類(水溶性) 優先評価化学物質(法第 2 条第 5 項) デカン-1-オール(デシラルコール)
消防法	有害性物質
化審法	その他の有害物件
船舶安全法	疾病化学物質(法第 75 条第 2 項、施行規則第 35 条別表第 1 の 2 第 4 号 1)を含む
航空法	
労働基準法	

16. その他の情報

参考文献

MSDSnavi (日本ケミカルデータベース株式会社、2018)

連絡先

製品に関する問い合わせ先:コールセンター0120-210-928

中毒に関する緊急問い合わせ先:公益財団法人 日本中毒情報センター

中毒 110 番	一般市民専用電話 (情報提供料:無料)	医療機関専用有料電話 (情報提供料:1 件 2000 円)
大阪 (365 日、24 時間対応)	072-727-2499	072-726-9923
つくば (365 日、9~21 時対応)	029-852-9999	029-851-9999

責任の限定について

安全データシートは、化学製品を安全に取扱うための参考情報として、当該製品を取扱う事業者
 に提供されるものであって、安全を保証するものではありません。また、ここに記載された数値は、規格
 値や品質を保証する数値ではありません。

この安全データシートは、一般に入手可能な情報及び自社情報に基づいて作成しておりますが、本
 品(当該製品)に関する全ての情報が網羅されているわけではありません。記載内容は当該製品の
 一般的な取扱いについて記載したものです。当該製品を取扱う事業者は、個々の取扱い等の実状
 に応じた適切な処置を講じることが必要であることを理解した上で、この安全データシートを活用さ
 れるようお願いいたします。